

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	1	担当部課	教育委員会 生涯学習部 社会教育課
------	---	------	-------------------

事務事業	514232 狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514230	社会教育の充実		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	改善、効率化	改善、効率化の内容	目的、手段の変更	方向性(第二次)	改善、効率化	
対象	市内在住・在勤する者で概ね55歳以上の者						
事務事業目的	シニア世代がこれまでに培った能力や技術の更なる探究を行うとともに、社会の変化に即した新たな知識を習得し、これらを活かすなかで地域活動への参加の促進を図ります。						
事務事業内容	シニア世代のニーズや時代に即した講座を開催します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	シニア・コミュニティ・カレッジ事業の受講者数						
活動指標	(活動指標1) シニア・コミュニティ・カレッジ事業のクラス数						
目標達成状況	成果指標 [人]	平成23年度	平成24年度				
		予定	334.00	364.00			
	実績	313.00	305.00				
	活動指標1 [学級]	平成23年度	平成24年度				
		予定	16.00	16.00			
	実績	15.00	15.00				
	単位コスト						
	活動指標2 []	平成23年度	平成24年度				
		予定					
	実績						
単位コスト							
活動指標3 []	平成23年度	平成24年度					
	予定						
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	平成23年度	平成24年度					
	予定		5,944				
実績			5,497				
見直し実績							
事務事業評価	目的	高齢者の生きがいづくりと地域活動への参加を促進することは重要であり、事業の目的は適切である。					
	成果	前年に比べて受講者数は減少したが、NPO法人との協働で事業を実施することができ、高齢者のなかまづくりと地域活動への参加に繋げることができた。					
	活動	新たに「トレッキング学科」を設けたが、「中国語入門学科」の応募者数が少なく開講できなかったため、8学科13コース15クラスの開講となり、前年度と同様のクラス数を確保したものの予定数には満たなかった。					
	コスト	当初は、9学科を予定していたが、1学科開講できなかったため、予定額を下回った。					

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号 2-1

担当部課 教育委員会 生涯学習部 中央公民館

事務事業	726734 公共建築物耐震改修事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	726710	公共施設の適正配置と計画的な管理	
区分	必要性	非常に高い	有効性	普通	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	各公民館					
事務事業目的	耐震強度が不足する公民館について、必要な改修を行い、安全安心な学習環境を確保します。					
事務事業内容	耐震改修が必要な公民館施設の耐震改修工事を計画的に実施します。					
実施形態	直営					
成果指標	耐震改修が必要な公民館(4館)に対する耐震化実施率					
活動指標	(活動指標1) 耐震改修設計の件数 (活動指標2) 耐震改修工事の件数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	50.00	75.00		
		実績	50.00	50.00		
	活動指標1 [件]	予定	2.00	1.00		
		実績	1.00	2.00		
		単位コスト				
	活動指標2 [件]	予定	2.00	1.00		
		実績	2.00	0.00		
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		24,867			
	実績		4,288			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に実施しているが、本年度予定していた1件について工事契約に至らなかったため、前年度と変わらなかった。				
	活動	狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に実施しているが、水富公民館の工事を進めることができなかった。設計については、堀兼公民館の設計を予定通り実施した。				
	コスト	工事完了検査等の基準を満足するための、必要なコストといえる。予定と実績の乖離については、次年度に繰り越したことによる。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	2-2	担当部課	教育委員会 生涯学習部 中央公民館
------	-----	------	-------------------

事務事業	514224 公民館空調改修事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実	
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	各公民館					
事務事業目的	老朽化した公民館の空調設備を改修し、快適な学習環境を確保します。					
事務事業内容	老朽化した公民館の空調設備の改修を計画的に実施します。					
実施形態	直営					
成果指標	空調設備の改修が必要な公民館(6館)に対する改修が完了した公民館の割合					
活動指標	(活動指標1) 空調設備改修工事の件数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	0.00	33.33		
		実績	0.00	33.33		
	活動指標1 [件]	予定	0.00	2.00		
		実績	0.00	2.00		
		単位コスト				
	活動指標2 []	予定				
		実績				
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		120,170			
	実績		92,668			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に実施し、快適な学習環境の確保が図られた。				
	活動	2館(水野公民館・柏原公民館)の工事を計画的に進めることができた。				
	コスト	工事完了検査等の基準を満足するための、必要なコストといえる。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	3	担当部課	教育委員会 生涯学習部 中央公民館
------	---	------	-------------------

事務事業	025037 公民館講座等運営事業					
	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業	
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続改善、効率化の内容			方向性(第二次)	
対象	各公民館					
事務事業目的	市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民の地域学習の促進を図ります。					
事務事業内容	生涯学習及び社会教育の拠点として、現代的課題や地域課題などをテーマとした講座等を開催します。					
実施形態	直営					
成果指標	講座等の延べ参加者数					
活動指標	(活動指標1) 講座等の件数 (活動指標2) 講座等の延べ開催回数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [人]	予定	135,000.00	135,000.00		
		実績	135,526.00	118,315.00		
	活動指標1 [件]	予定	340.00	350.00		
		実績	349.00	369.00		
		単位コスト				
	活動指標2 [回]	予定	1,400.00	1,450.00		
		実績	1,450.00	1,538.00		
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		85,808			
	実績		84,657			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	事業の延べ参加者数は、屋外事業が雨天のため中止になったこと等により、前年度より減少となり、当該年度の予定値をクリアすることができなかった。				
	活動	現代的課題や地域の課題など特色ある事業を取り入れたことにより、前年度より事業件数で20件、延べ開催回数で88回の増加が図れた。				
	コスト	参加費の受益者負担の適正化や経費の削減を図っているが、今後もコスト削減に努めていく。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	4	担当部課	教育委員会 生涯学習部 中央公民館
------	---	------	-------------------

事務事業	025034 公民館管理事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	025010	教育文化事業	
区分	必要性	高い	有効性	普通	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	各公民館					
事務事業目的	市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。					
事務事業内容	生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や生涯学習の成果を発表する場としての利用に供します。					
実施形態	直営					
成果指標	施設の利用率					
活動指標	(活動指標1) 施設の利用件数 (活動指標2) 施設の利用人数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	58.80	58.20		
		実績	44.15	38.35		
	活動指標1 [件]	予定	29,000.00	29,000.00		
		実績	29,592.00	50,550.00		
		単位コスト				
	活動指標2 [人]	予定	415,000.00	415,000.00		
		実績	415,697.00	655,157.00		
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		211,672			
	実績		208,165			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	施設の利用率は前年度に比較し、5.8%の減少となり、当該年度の予定値をクリアすることはできなかった。利用率低下の原因は、平成24年度から利用区分を3区分から6区分にしたことが考えられるため、単純な比較は困難である。				
	活動	平成24年度から利用区分を3区分（4時間）から6区分（2時間、夜間は3時間）としたことにより、利用者数の増加が図れた。				
	コスト	公民館使用料の受益者負担の適正化や経費の削減を図っているが、今後もコスト削減に努めていく。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	5	担当部課	教育委員会 生涯学習部 中央図書館
------	---	------	-------------------

事務事業	025044 図書館管理事業					
	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業	
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続改善、効率化の内容			方向性(第二次)	
対象	図書館利用者					
事務事業目的	図書館施設を適切に維持管理し、利用者に学習の場を提供します。					
事務事業内容	開館業務に必要な建物・施設・設備の管理、事務用品・備品等の管理、その他図書館運営に必要な業務を総括的に管理します。					
実施形態	直営					
成果指標	図書館来館者数					
活動指標	(活動指標1) 図書館の開館日数 (活動指標2) 図書館の夜間開館日数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標	予定	590,000.00	590,000.00		
		[人] 実績	599,953.00	564,063.00		
	活動指標1	予定	290.00	291.00		
		[日] 実績	291.00	284.00		
		単位コスト				
	活動指標2	予定	137.00	146.00		
		[日] 実績	139.00	136.00		
		単位コスト				
	活動指標3	予定				
		[] 実績				
		単位コスト				
トータルコスト(千円)	予定		78,963			
	実績		77,919			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	図書館システムの更新に伴い、平成24年4月と平成25年3月に蔵書点検を実施したことで開館日数が減少し来館者が減少した。				
	活動	設備の機器管理、清掃、警備等の業務を委託するとともに、経年劣化の著しい空調機器等の修繕を実施することで学習環境の整備に努めた。				
	コスト	施設の老朽化がすすんでおり、機能を維持するためには経費を削減できない。				

平成25年度教育委員会事務点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号 6

担当部課 教育委員会 生涯学習部 博物館

事務事業	025074 博物館管理事業					
	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業	
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	普通
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	一般					
事務事業目的	生涯学習の拠点として、当市の歴史・文化・自然などの資料を展示し、郷土に対する理解の醸成を図るとともに、講座や体験学習を通して市民の学習活動を支援します。					
事務事業内容	常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、講座や体験学習を開催します。					
実施形態	一部委託					
成果指標	全入館者数に対する常設展示入館者数の割合					
活動指標	(活動指標1) 全入館者数 (活動指標2) 常設展示入館者数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	54.48	48.59		
		実績	48.73	44.87		
	活動指標1 [人]	予定	39,443.00	35,692.00		
		実績	28,066.00	28,730.00		
		単位コスト				
	活動指標2 [人]	予定	21,491.00	17,345.00		
		実績	13,677.00	12,892.00		
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		82,453			
	実績		82,421			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業目的は適切である。				
	成果	当市の歴史・自然などの資料展示や講座の開催等を通して、郷土に対する理解の醸成を図ることができた。				
	活動	前年度と比較し、常設展示入館者数は若干減少したが、古文書読解や歴史などの講座の開催や茶席などの体験学習の実施により、郷土に対する理解の醸成を図るとともに、市民の学習活動の支援を図ることができた。				
	コスト	事業費は、施設の維持管理費が主なものであり、施設の適切な維持管理のためには、一定のコストは必要である。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	7	担当部課	教育委員会 生涯学習部 博物館
------	---	------	-----------------

事務事業	025077 博物館企画展事業					
	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業	
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	一般					
事務事業目的	常設展示では得られない知識や情報などの資料展示を行い、市民の学習機会の充実を図るとともに、博物館への興味や関心を高めていきます。					
事務事業内容	企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を高めるもの及び独自性に富んだものを基軸として年3回開催します。					
実施形態	一部委託					
成果指標	全入館者数に対する企画展入館者数の割合					
活動指標	(活動指標1) 企画展入館者数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	75.52	76.38		
		実績	79.24	81.09		
	活動指標1 [人]	予定	29,789.00	27,263.00		
		実績	22,240.00	23,298.00		
		単位コスト				
	活動指標2 []	予定				
		実績				
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		28,300			
	実績		28,230			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業目的は適切である。				
	成果	常設展示では得られない知識や情報などの資料展示を行い、博物館への興味や関心を高めることができた。				
	活動	前年度と比較し1,058人の増となり、展示資料を通して、市民の学習機会の充実と博物館への興味や関心を高めることができた。				
	コスト	企画展は、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちに博物館への興味関心を高めるもの及び独自性に富んだものを基軸として年3回開催しており、市民の学習機会の充実を図るため、一定のコストは必要である。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	8	担当部課	教育委員会 生涯学習部 社会教育課
------	---	------	-------------------

事務事業	514221 生涯学習推進事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	市民						
事務事業目的	誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びを通して自分を磨き高め、学びの成果を社会の中で活かすことができるよう、生涯学習に取り組む機会や場の充実を図ります。						
事務事業内容	生涯学習に関する情報の提供や相談に総合的に応じる窓口を設置するとともに、ボランティア制度や生涯学習まちづくり出前講座の利用の促進を図り、併せて子ども大学を開校する。また、生涯学習の場として、入間川小学校の施設の一部を開放します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	生涯学習に参加した人数（公民館利用者数）						
活動指標	(活動指標1) 生涯学習まちづくり出前講座利用件数 (活動指標2) さやまるシェ内の生涯学習情報へのアクセス件数 (活動指標3) 生涯学習情報コーナーにおける相談件数						
目標達成状況	成果指標	予定	平成23年度	平成24年度			
		実績	550,000.00	550,000.00			
	[人]	実績	551,223.00	773,472.00			
		単位コスト					
	活動指標1	予定	480.00	490.00			
		実績	474.00	496.00			
	[件]	単位コスト					
		実績	3,000.00	5,000.00			
	活動指標2	予定	3,000.00	5,000.00			
		実績	3,586.00	8,335.00			
[件]	単位コスト						
	実績	0.00	2,400.00				
活動指標3	予定	0.00	2,400.00				
	実績	0.00	961.00				
[件]	単位コスト						
	実績						
トータルコスト(千円)	予定		7,774				
	実績		7,252				
見直し実績							
事務事業評価	目的	自分を磨き高めるとともに、生涯学習に取り組む機会や場の充実を図ることが必要であり、事業の目的は適切である。					
	成果	地域ポータル「さやまるシェ」内への生涯学習情報検索サイト「さやまなびいネット」の開設や市民交流センター内への生涯学習情報コーナーの設置などにより、生涯学習への参加促進を図り、予定値を上回ることができた。					
	活動	出前講座はメニューの追加により、また、生涯学習情報へのアクセスは情報検索サイトの開設などにより、予定値を上回った。情報コーナーの相談件数は予定値を下回ったが、講座や施設の案内などの窓口対応は4,947件で、学習情報を広く市民に提供できた。					
	コスト	業務委託料及び物品借上料が、安価での契約となったため、予定額を下回った。					

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号 9

担当部課 教育委員会 生涯学習部 社会教育課

事務事業	514231 現代的課題等講座運営事業							
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514230	社会教育の充実			
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い		
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)			
対象	市民							
事務事業目的	公民館事業における現代的課題や地域課題に関する学習機会の提供を通して、これからの地域社会を担っていく人材を育成します。							
事務事業内容	各公民館と連携して、現代的課題や地域課題をテーマとした講座を開催します。							
実施形態	直営、一部委託							
成果指標	講座参加者数							
活動指標	(活動指標1) 講座実施数							
目標達成状況	成果指標 [人]	平成23年度	平成24年度					
		予定	1,378.00	1,440.00				
		実績	2,650.00	2,320.00				
	活動指標1 [件]	平成23年度	平成24年度					
		予定	34.00	34.00				
		実績	39.00	37.00				
		単位コスト						
	活動指標2 []	平成23年度	平成24年度					
		予定						
		実績						
	単位コスト							
活動指標3 []	平成23年度	平成24年度						
	予定							
	実績							
	単位コスト							
トータル (千円)	平成23年度	平成24年度						
	予定		13,545					
	実績		13,404					
見直し実績								
事務事業評価	目的	これからの地域社会を担っていく人材を育成するために学習機会を提供することは重要であり、目的は適切である。						
	成果	現代的課題等の講座参加者数について、学習テーマを工夫し、継続的に講座を開催することにより、市民の関心度や認知度を高めることができ、前年度に比べ減少したものの予定値を上回ることができた。						
	活動	講座実施件数は2件減少したものの、現代的課題や地域課題に関する講座の定着化が進む中で、市民が地域の各種行事や主催事業に参加するきっかけづくりをすることができた。						
	コスト	経費節減に努め、効率的に事業を実施した結果、コストの削減につながった。						

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	10	担当部課	教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
------	----	------	---------------------

事務事業	514311 スポーツ振興事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514310	スポーツの機会の拡充	
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	普通
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	市民					
事務事業目的	市民スポーツの振興を通じて、市民の健康増進や生きがいづくり、地域コミュニティの醸成等の促進を図ります。					
事務事業内容	スポーツに親しめる機会や場の充実に向けて、市民のライフスタイルやニーズに応じた各種のスポーツ教室や行事などを開催します。					
実施形態	直営					
成果指標	スポーツ教室・行事参加者数					
活動指標	(活動指標1) スポーツ教室・行事開催回数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [人]	予定	2,068.00	2,117.00		
		実績	2,117.00	2,098.00		
	活動指標1 [回]	予定	22.00	23.00		
		実績	23.00	24.00		
		単位コスト				
	活動指標2 []	予定				
		実績				
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
実績						
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		30,447			
	実績		28,933			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	スポーツ教室・行事の参加者数は、年々増加傾向にあるなかで、昨年度との比較では減少しているが、予定（目標）値に近い参加者があった。				
	活動	スポーツ教室・行事の開催回数は、新たな種目を加えるなど、内容の充実を図る中で、予定（目標）値を達成することができた。				
	コスト	スポーツ教室・行事の開催にあたっては、適正な講師謝礼金やスポーツ推進委員の活用など、効率的に執行されている。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	11	担当部課	教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
------	----	------	---------------------

事務事業	025088 市民総合体育館管理事業					
	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業	
区分	必要性	高い	有効性	非常に高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	施設利用者					
事務事業目的	スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。					
事務事業内容	市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供するとともに、自主事業を実施します。また、施設の管理や自主事業については、指定管理者に委ねます。					
実施形態	指定管理					
成果指標	施設利用率					
活動指標	(活動指標1) 施設利用者数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	85.00	83.30		
		実績	88.10	87.00		
	活動指標1 [人]	予定	274,700.00	290,500.00		
		実績	287,676.00	253,955.00		
		単位コスト				
	活動指標2 []	予定				
		実績				
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
		実績				
単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		53,594			
	実績		52,766			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。				
	成果	スポーツ・レクリエーション活動の場として、多くの市民に利用されるとともに、指定管理者による自主事業等により、予定(目標)値をクリアできた。				
	活動	前年度に比べ、大会やイベントが減少したため利用者数が減少しているが、数年来の傾向としては、増加傾向にある。				
	コスト	急遽、自動火災報知機の更新工事を実施した。施設の管理や自主事業については、指定管理者に委ね、適正なコストで管理されている。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号 12

担当部課 教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課

事務事業	025090 武道館管理事業					
事業区分	その他の事業	施策体系	025010 教育文化事業			
区分	必要性	高い	有効性	非常に高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	施設利用者					
事務事業目的	スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。					
事務事業内容	市民のスポーツ活動等の場として、武道館を市民の利用に供します。また、施設の管理については、狭山市シルバー人材センターに委ねます。					
実施形態	一部委託					
成果指標	施設利用率					
活動指標	(活動指標1) 施設利用者数					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度		
	成果指標 [%]	予定	77.00	77.00		
		実績	77.00	77.30		
	活動指標1 [人]	予定	24,300.00	22,600.00		
		実績	19,722.00	19,437.00		
		単位コスト				
	活動指標2 []	予定				
		実績				
		単位コスト				
	活動指標3 []	予定				
		実績				
		単位コスト				
トータルコスト (千円)	予定		11,176			
	実績		10,024			
見直し実績						
事務事業評価	目的	事業の目的は適切であるが、施設の老朽化から平成24年度をもって利用を休止とし、武道館の今後の在り方や方向性を検討していくこととした。				
	成果	スポーツ・レクリエーション活動の場として、多くの市民に利用され、予定(目標)値をクリアできた。				
	活動	成果指標である施設利用率は増加しているが、活動指標である施設利用者数は、前年度に比べ、減少している。				
	コスト	修繕料は当初予算額を下回った。施設の管理については、シルバー人材センターに委ね、適正なコストで管理されている。				

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	13	担当部課	教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
------	----	------	---------------------

事務事業	514331 スポーツ活動促進事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514330	地域のスポーツ活動の促進		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各種スポーツ・レクリエーション団体						
事務事業目的	市民の各種スポーツ活動の促進を通じて、市民スポーツの振興を図ります。						
事務事業内容	各種スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援するとともに、各地区で行われる体育祭の開催を支援します。						
実施形態	補助・負担						
成果指標	各種スポーツ・レクリエーション団体（狭山市体育協会、狭山市スポーツ少年団、狭山市レクリエーション協会）への加盟団体・チーム数						
活動指標	（活動指標1）団体補助金の交付						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度			
	成果指標 [団体]	予定	71.00	71.00			
		実績	71.00	70.00			
	活動指標1 [千円]	予定	5,662.00	5,662.00			
		実績	5,662.00	5,762.00			
		単位コスト					
	活動指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	活動指標3 []	予定					
		実績					
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定		18,790				
	実績		18,751				
見直し実績							
事務事業評価	目的	事業の目的は適切である。					
	成果	スポーツ・レクリエーション団体の活動の活性化を図ったが、1団体が脱退し予定（目標）値を下回った。					
	活動	スポーツ・レクリエーション団体の活動の活性化を図るため、各団体に補助金を交付し、予定（目標）値をクリアすることができた。					
	コスト	市からの補助金については、団体の活動費に組み込み、適正に活用されている。					

平成25年度教育委員会事務事業点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号	14	担当部課	教育委員会 学校教育部 教育指導課
------	----	------	-------------------

事務事業	524411 教育活動事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	524410	教育指導内容の充実		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	全小中学校						
事務事業目的	外国語の文化に早くから慣れ親しませる環境づくり、正しい勤労観の育成、義務教育9年間を見通した小中連携教育の推進等を通じて、児童生徒に知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育成します。						
事務事業内容	小学校に英語活動支援員、中学校に語学指導助手を配置するとともに、全中学校での職場体験学習や中学校区ごとに小中連携教育を推進します。また、小中学校及び幼稚園への研究委嘱や教職員の研修を実施するとともに、教育研究団体に対して補助金を交付します。						
実施形態	直営						
成果指標	英語に興味関心の高い児童の割合						
活動指標	(活動指標1) 市内小学校への英語活動支援員の配置数						
目標達成状況	成果指標 [%]	平成23年度	平成24年度				
		予定	100.00	100.00			
	活動指標1 [人]	予定	27.00	25.00			
		実績	87.00	89.10			
	活動指標2 []	実績	27.00	25.00			
		単位コスト					
		予定					
	活動指標3 []	実績					
		単位コスト					
		予定					
トータルコスト (千円)	予定		107,800				
	実績		107,579				
見直し実績							
事務事業評価	目的	児童生徒に知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育成するための事業であり、目的は適切である。					
	成果	英語に興味関心の高い児童の割合が、前年度比1.5ポイント向上しており、事業の成果が確実に表れている。					
	活動	英語活動支援員を小学校に配置し、英語活動の授業を効果的に実施した。					
	コスト	語学指導助手の報酬・旅費、英語活動支援員の謝礼金、児童英検検定料、社会体験チャレンジ事業保菌検査料・保険料等支出は多岐にわたるが、適切であった。					

平成25年度教育委員会事務点検評価（平成24年度実施事務事業）評価表

整理番号 15

担当部課 教育委員会 学校教育部 教育指導課

事務事業	524431 教育指導支援事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	524430	教育支援体制の充実		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行のまま継続	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	全小中学校						
事務事業目的	各小中学校等に、非常勤講師等を配置し、きめ細やかな教育を推進することにより、確かな学力の育成を図ります。						
事務事業内容	きめ細やかな教育を推進するため、小学校にわくわく支援員を、中学校にアシスタントティーチャーを配置し、教員の指導を補助します。また、小中学校からの要請に応じて、教育センターに配置した非常勤講師を派遣します。						
実施形態	直営						
成果指標	埼玉県小中学校学習状況調査中の関心・意欲・態度の観点を測る問題の小学校の正答率						
活動指標	(活動指標1) わくわく支援員等の配置延べ日数						
目標達成状況	成果指標 [%]	予定	平成23年度	平成24年度			
		実績	80.00	80.00			
	活動指標1 [日]	予定	5,663.00	5,785.00			
		実績	5,403.00	5,531.00			
		単位コスト					
	活動指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	活動指標3 []	予定					
		実績					
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定		59,971				
	実績		58,185				
見直し実績							
事務事業評価	目的	きめ細やかな教育を推進するため、非常勤講師等の配置と充実は必要であり、小中学校からのニーズも高く、事業目的は適切である。					
	成果	学習状況調査中の関心・意欲・態度の観点を測る問題の正答率は、予定値に達していないが、一定の成果を上げている。					
	活動	わくわく支援員等の配置は達成率95%を超え、落ち着いて学習に取り組むための支援体制をとることができた。					
	コスト	支援員等臨時職員の賃金のほか、小中学校の病休代替教員、統廃合特別加配教員等の賃金、また、日本語指導員、図書館指導員等の謝礼金の支出があり、予定と実績に差が生じているが、適切な支出であった。					